

2020.2.20(木)
第32例会
(通算 3585回)

2019-2020年度 釧路ロータリークラブ会報

会長スローガン「CONNECT！ロータリーをよく知って より大きい輪をつくらう！」

第83代会長	天方 智順	例会日	毎週木曜日 12:30～13:30 夜間例会 18:00
副会長	後藤 公貴	例会場	釧路センチュリーキャッスルホテル
幹事	松井 聖治	事務局	釧路市錦町 5-3 ミツ輪ビル 2F
編集責任者	クラブ会報雑誌委員会	☎	0154-24-0860
		☎	0154-24-0411

2019-2020年度
国際ロータリーテーマ



2019-2020年度 RI 会長
マーク・ダニエル・マロニー
第2500地区ガバナー
吉田 潤司 (釧路 RC)

月間テーマ	平和と紛争予防／紛争解決月間
本日のプログラム	釧路市長講話 (担当：プログラム委員会)
次週例会	これからの喫煙ルールについて (担当：プログラム委員会)

- ロータリーソング：「我等の生業」
- ソングリーダー：馬場 雅嗣君
- 会員数 99名
- ビジター なし
- ゲスト なし
- ニコニコ献金

馬場 雅嗣君・・・短い間でしたが、大変お世話になりました。

今年度累計 698,000円

会長の時間 天方 智順会長



皆さん、こんにちは。気のせいでしょうか、先週よりマスクをしている方が多いと思います。先ほど蝦名市長ともお話をしていましたけれども、LPGA・国

内女子ゴルフの第1戦・ダイキンオーキッドの無観客試合が決定いたしました。3月になりますと大相撲春場所もごぞいます。3月20日過ぎには春の選抜甲子園もごぞいます。どうなるのかと思っています。

そんな中、吉田ガバナーが「こんなにコロナウイルスが流行っている中、例会に来たのだから出席を2回分にしてくれ」とおっしゃっていましたが、却下いたしました。皆さん、本当に健康には気を付けていただきたいと思います。

蝦名市長がいる前で恐縮ですが、「親の心子知らず」みたいなお話をします。姪っ子が、北陽高校に通っています。北陽高校は今年度までは国内の修学旅行だったのですが、来年から台湾に修学旅行となるそうです。私は国際親善のため視野を広げるために誠に良いと思っていたら、姪っ子、現役の高校生は違うことを思うようです。「なによりも費用がかさむ、パスポート

申請料もかさむ。4泊5日の国内修学旅行が台湾へ行くこと3泊4日になるかもしれない。それともつまらない」と姪っ子が言っていました。なによりも「Wi-Fiが繋がりにくいことが嫌だ」と嫌がっているそうです。

若い世代、特に女性の方は、人気観光地などを選ぶ基準に「Wi-Fiが繋がりにやすい・そうじゃない」が含まれるようです。コマーシャルでやっている、あの眉毛をたく書いた女性タレントのWi-Fiの会社がまた売り上げを上げるのかと思っていますが、なによりもそれまでにはコロナウイルスが終息してほしいものです。

以上、雑ばくな話で申し訳ないのですが、今日のご挨拶にさせていただきます。ありがとうございます。

転勤挨拶 北海道電力株式会社 釧路支店 支店長 馬場 雅嗣君

例会の大変貴重な時間を頂戴してご挨拶をさせていただきますこと、本当にありがとうございます。この3月1日をもちまして札幌に戻ることにしまし



た。この間、2年半ほどのロータリーの活動では未熟な活動で足手まといになった部分が多々あったのではないかと感じておりますけれども、皆さまのご指導をいただきながらここまで来られたと思っております。本当に感謝申し上げたいと思います。

私は、釧路で生活をする、仕事をするのが初めてだったもので、心細いものがあったのですが、皆さまからいろいろなお話を聞かせていただき、そして元気をいただきながら今日まで働いて来ることができたと思っております。本当にありがとうございます。

この先、行く所ですけれども、私は今年が干支で3月が誕生日で60歳になるものですから、会社の規定で3月末が定年退職になります。そんな関係で3月1日に広報部付けで私どものグループ会社の北電興業に出向して、4月1日からは転籍という形で第2の会社人生が始まることになります。

北電興業という会社を紹介させていただきますと、「なんでも屋」と社内からも言われているところもございます。例えば、不動産事業でいいますと、会社の社有地を管理する、また社屋を管理するといったことから派生して、札幌市内でマンション・アパートの賃貸もやっております。また変わったところでは、札幌の二十四軒に温浴施設を運営しております。その他、商事部門で保険代理業務や旅行業務、オートリースという分野も手がけています。それから発電所を持っていますから発電所の緑化で環境的なこと、建築、土木もやっているわけです。

そのような中で、私がこれから行く所は広告部でお世話になります。身近なところでは電柱に広告が巻かれています。それが、これから私が行く所の仕事。あとは僅かですけれども北電が発行する広告物の制作を請け負う、そんな仕事をするということになっております。

いずれにしましても、この2年半に及びまして本当に皆さまからご指導をいただきました。多分、今後はロータリーとしての活動はひよっとしたらないのではないかと感じておりますけれども、この歴史と伝統ある釧路ロータリークラブで身に付きました『奉仕の精神』を忘れずにこれからの日々、生活をしていきたいと思っております。

本当に皆さまにはお世話になりました。どうもありがとうございました。

■本日のプログラム■ 釧路市長講話

プログラム委員会 池田 いずみ委員長

プログラム委員の池田です。こんにちは。本日はご多忙の中、釧路市長蝦名大也様にいらっしやっていただきました。

蝦名市長、早速ではございますが、ご講演をお願いしたいと思っております。よろしく願いいたします。

釧路市長 蝦名 大也 様



皆さま、こんにちは。今年も釧路ロータリークラブの例会でお話をする時間を作っていただきました。改めて心から感謝とお礼を申し上げます。ところであります。

そしてまた釧路ロータリークラブ天方会長を中心に、皆さまには本当に街づくり・街の経済・社会づくりと本当に多岐にわたってお力添えをいただいております。子どもたちの教育環境も含め、いろいろな場面の中で皆さまのお姿を見ているときに力づけていただいております。心から感謝するところでございます。

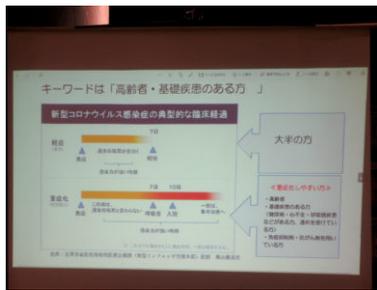
先ほどは、馬場支店長が札幌の方へ行かれるということでございまして、本当にお世話になりました。やっぱり「ブラックアウト」の時です。支店長は連絡をくれまして、病院などの体制もありますけれども、釧路は生産都市ということで電気が産業にどんな影響があるかと、いろいろな所と掛け合って移動電源車の確保をどこに、と毎日電話でお話をしながら進めていただき、改めて感謝を申し上げます。

これからは、広告の部門でありますから、電柱はロータリアンの方々は1/10ぐらいの金額でできるような仕組みなどをいろいろお願いできれば・・・ダメかなと考えたところでございました。

先ほど、お話も出ていましたコロナウイルス、1点だけ皆さまにお願いであります。いまも完全に国内にまん延していると考えた方が良くはないかと思っております。ここをどのように退治していくのかです。コロナウイルスは他のウイルスと違って発熱が続くので、つまり「病院にたくさんの方が一遍に行きますと、医療体制が崩壊してしまうことを防いでいこう」と、この指針が出されていると考えていただければありがたいと思っております。

あの武漢でも、医師30人の所に2万人が行ったということですから、これはもう絶対対応することは不可能なわけです。そこで、熱が出て普通の方では4日ぐらいで熱が下がるとなっているのです、それでも熱が

下がらないときには保健所などの電話番号に。これは新聞もそうですけれど、このあと3月1日の「広報くしろ」にも書いて全戸配布となりますので、そんな対応を取っていただければと思います。会社などでは「熱がある時は休め」とお話いただいて進めて行ければと。



この中でネックになることは、「熱が出

て2日ぐらいで重篤化」ということを考えたときに、例えば「糖尿病などの方については2日間ぐらい熱があれば、体調を見ながら保健所に連絡をしてから病院の方に」とありますので、ぜひこのところを会社の方々にもお話いただければありがたいと思っております。

流れる的には、一般の病院へ行きまして「どうかな」という時には病院から保健所へ連絡が行く形になっています。そこで検査となりますと、保健所から釧路は市立病院に連絡が来て検査を行っていく。ウイルスのチェックをするのに3日ぐらいかかるのです。それまでの間、症状に応じて自宅で待機していただくか、もしくは入院をするかになるのですけれど、このような手順になっています。

市立病院などでも当然、保健所から連絡が来ると、動線、人の通る道も別にしなければいけないとなります。その手順を無視して、ボンと病院へ行ってしまうと、これが拡散となってしまいますので、そういった手順を取っています。

病院の方も体制ができております。釧路はこの中央センター病院ということで減圧、気圧を下げて空気が外に出ない部屋を持っております。その感染症対策ということでここは4床のベッドがあります。もうひとつ、結核の方でも10床持っています。いま1人が入っていますけれども、そういう形でそれだけのキャパがありますので、手順さえきちんと進めて行ければ問題はないと思っていますので、この点をよろしくお願いしたいと思います。

現状の中では、予防ということで「手洗い」が重視されています。もうひとつはアルコール消毒です。あのウイルスはアルコールに触れるとすぐ壊れてしまう、死んでしまうということで、これが最も効果的だと言われております。マスクはもちろん飛散防止がありますけれどなかなか売っていない。アルコールも結構厳しい状況になっています。ウチの保健師が言うには、アルコールの代わりにキッチンハイターなどを薄めて使っても全く同じ効果ということです。トイレなどに「手を洗った後アルコール消毒を」がありますけれど、今回の場合はちょっと違うと思います。つまり、外か

ら帰ってきたら玄関で真っ先にアルコール消毒をして、他に触っても問題がないようにしましょう。いいだけいろんな所を触ってから最後の最後に手を洗っても、そこ・ここに菌が付着していることとなりますので、しっかり徹底して行こうとお話をしていますので、ぜひご理解いただきたいと思っております。

市役所も玄関にアルコール消毒を置いていまして、消毒をして中へ入って、手すりやドアノブを触ることがいろいろありますので、このような形を取っているの、ぜひ正しく恐れると言ったら良いのでしょうか、このように進めて行ければと思っています。

先ほど、天方会長からも北陽高校の修学旅行のお話で台湾のお話が出ましたけれど、台湾なども徹底した予防を進めていると先日にもニュースに出ておりました。いろいろ公共的なものに入る時には必ず玄関口でアルコール消毒をしてからということ、このようなことは日本も学んだ方が良いというニュースでありました。やっぱり世界はそんな感じでしっかり対応しているので、ぜひよろしくお願ひしたい。

致死率も皆さまも聞いていると思いますけれど「1%」と言っています。中国の人達も入れてのパーセントですから、日本でいうとその7か8分の1くらいか、コンマ3か4の状況になっているということです。これは厚労省が発表するものでありますから、私どもがいちいち地方自治体で変なことは言えないのでありますけれど、そのように中身を理解しながら適切に対応していくことが重要だと思っていますのでよろしくお願ひ申し上げます。

それでは、今日のお話をさせていただきたいと思ひます。だいたい25分ぐらいには上げるということです。昨日、新年度の予算を発表させていただいたところでありまして、昨日はひたすら原稿を読んでいたような状況でありました。そういった意味では初めて話すような状況になっていますけれど、完璧に頭の中に入っていないこともあるかもしれませんが、よろしくお願ひしたいと思うところでございます。

今日も新聞に出ておりました。規模の話で、一般会計の予算995億円。前年度より42億円が増えています。規模は、僕はそんなに重視していませんけれども、一般的に予算が増えると「積極財政」と、予算の規模が下がると「緊縮財政」と言われるのですけれども、そういった意味では積極的な財政という位置付けになると考えております。ただそこは、意図的に積極的ではなく、今やらなければいけないことをしっかり進めて行こうという基本的な考え方です。

私の予算の基本的な考え方は、「皆さんから預かっているお金だ」でありますので、そのお金を使う以上はそこに行政的に意図を持つ、もしくは期待を持つ、このような使い方をするのが行政には求められている、とこのような言い方をしています。ですから「『予

算の配分』という言葉を使わないようにしましょう」とずっと言ってきています。配るのではなく、集まった皆さんのお金を使う、このような意識の中でひとつひとつの予算を進めて行こう。それは1円でもどのような意味で使っているかをしっかりと説明できるということと同義語になると思っていて、そういう意味で今回のこの予算を作成したところで、規模が995億円になっているというものでございます。そこで、そのお金をどういった意思を持って使うか、ひとつひとつ個別の事業でありますから、ひとつひとつに目的はあります。ここで、次を見ていただきたいと思えます。

市税の状況、「人口減少と市税の状況」を書いたものでして、人口の減少はご案内のとおりずっと続いていまして、釧路は昭和56年から減少とってきていまして、いままも人口は減少しているのです。ただ、この



の人口減少の中で、市税が実は僅かながら上がっていることを改めて示しているものです。市税の主要なものは、大きい順番から「個人市民税」「固定資産税」「法人市民税」「たばこ税」とつながってくるのです。特に下の方を見ていただきますと、個人市民税が上がっているのです。アップしているのです。隣の固定資産税、これも推移があるのですけれど、いろいろな会社の設備投資をしていただいて、その償却資産は下がるものがしっかり上がっているわけですし、このところをしっかりと進めて行ければと考えております。

人口減少でありますから当たり前のように「パイは小さくなってきます」と常識的に考えられているのですけれど、私はそうではない、そのためにいろいろなことをしっかりと進めて行こうと考えています。

というのは、例えばGDPひとつ、世界と日本のものを比較しても、熊谷日銀支店長がいる前で恐縮ですけど、日本はほとんど変わらない状況の中で530兆円～540兆円です。基準が変わったからそうなのですけどそのようになっている。しかしながら、諸外国を見ていきますと、だいたい140%位の伸びをこの20年～30年で行われています。では、そこはそんなに人口が増えているのかと思ったらそうではありません。いままで100万円を使う人が10人いたら1,000万円の規模ですね。しかし、そこが9人になったら900万円の規模です。8人になったら800万円の規模です、という考え方で、いろいろなものを小さくしていく考え方だったのですけれど、そうではなく9人になったら、例えば10万円を15万円を使ってもらう。100万円を115万円を使ってもらう。この

ように進めていくことでパイをどんどん拡大していくことが重要ではないか。拡大していくためには、経済、働く、産業活性化が一番重要になってくるだろう。このような意味合いの中で、ずっと都市経営ということで街を経営していく、街の資源を活かしながらプラス成長を目指すという形の中での予算の使い方、このようなことを行ってきたのであります。

そこで少しではありますが人口は下がっているのですけれど、税収の方が維持からプラスの形になっておりますので、ここを徹底的に進めていければと思っております。各層のところを見ても、今まで一番低所得という方で100万円以下の人、純粋な所得としたら170～180万円ぐらいの人たちの層の数も減ってきています。そのような中で、働いたり、所得を少しでもと、このような考え方でこうやってひとつひとつの事業を進めていこうと考えているところです。

これは今年行っていく事業を列挙しているところですけど、ゴミの最終処分や、公住や市道の整備など、このようなことを行っていくということです。

先ほど都市経営というお話をさせていただきました。これは、釧路市がここに持っている資源、人も含めて涼しいこのような気候、海の幸・山の幸、全てが財産であり資源である。これを活用しながらプラス成長を目指すという考え方で行ってきたのです。

「街づくり基本構想」、これは昔の総合計画でありまして、これからの10年間どのようなことを進めていくのかをまとめ、昨年の4月からスタートしているものです。その中の基本構想の重点戦略、これが経済をベースにしているものであります。街の活力を高める経済の活性化、地域経済を担う人材育成、そして地域経済を支える都市機能向上、この基本構想の中で10年間ここをしっかりと進めていこうという考え方をしているものです。

そして、一番端の「域内連環」です。これはまだ浸透していませんけれども、要は全てのこの地域の物がつながっているという考え方なのです。スタートでいうと「地産地消」という言葉がありました。地域にある物を地域で消費していこうというものがありました。そのあと「産消協働」という言葉、これは北海道が道民宣言を行ったのですけれども、地産地消をグレードアップした形になっております。さらにそれをもっとグレードアップして「域内連環」、ひとつのこと



をひとつの目的ではなく全部つながっているのだから、そこを踏まえながら進めていこうということです。例えば、観光施策を行った場合でも、経済波及といっ

た観点から釧路市には「産業連関表」というものがあります。どこにどれだけの効果があったのか、独自でずっとデータを持っているのですが、観光でびっくりしたことは、この釧路の場合一次産業に非常に効果があるのです。もちろんホテルもあります特に漁業でした。つまり、観光客が来て炉端などへ行った時に「アジください」とはなかなか言わないわけで、やはり「地元のお魚を」となります。となると、この経済波及効果がグンと上がるということで、観光と一次産業・漁業はストレートには結び付かないかもしれませんが、こうやっていろいろなことがつながっているのです。それをありとあらゆる分野で進めて行こうというのが「域内連環」の考え方です。

ここからは、それぞれのポイントの中の政策テーマに沿った予算でありまして、やはり雇用が第一でありまして、雇用を「地元企業の振興」と「地域経済を担う人材の確保」と書いております。これは、私どもでいうと『k-Biz (ケービズ)』も充実されます。澄川センター長にプラスして昨年の11月からブランディングマネージャー・田辺さんに来ていただいて、そして4月から事務局も新たに構築する準備もしているところで、こここのところ地元の人に元気を付けてもらおう。

『k-Biz』の考え方は、ホームランなんかでドンと売れていくものを作って行きましょうというのではなく、それぞれの会社がお金をかけないで売り上げを伸ばしていただくということ。例えば、100人の雇用を作るのに100人の会社をここに持って来て100

人できた、これはあるよね。しかしそうではなく、地元の100社が1人1人を雇用してくれて、それが100社あったら100人の企業を持って来るとイコールだろう。そここのところを地元の中でなんとか進めて行こうというのが『k-Biz』のモデルであり、ひとつひとつの会社になんとかパワーを付けてもらおうと取り組んでいるものです。ぜひこのようなものを活用いただければありがたいと思っております。

併せて、いまの若い世代がなかなか地元のことを仕事のことを知らないということがありますので、そこも教えて行こう。情報として提供して行こう。インプットしてもらおう。このような取り組みも行っているところです。ここは企業の皆様にもご協力いただいているところでもあります。いままでのようにホームページでポンやっけても情報として子どもに届かないのです。いま、いろいろなことをみんなが考えてくれます。

例えば、「うちの会社には〇〇高校の生徒が何人いるぞ」とか「このような役職をやっているぞ」なども出したり、また福利厚生や給与で赤裸々な情報を出して行きながら、子どもたちが関心を持つようなことを進めて行く。まさにそのような意味で「ロータリーの活動もやっているぞ」も魅力につながって来るとあります。情報を届けるという時代になってきていますので、ここも活用していただければありがたいと思えます。

次が、観光です。いま新型コロナウイルスで切ない状況になっていますが「観光立国ショーケース」で、長崎・金沢・釧路と選定されていよいよ2020年が最終年度です。目標に向かっていったときにこのような状況になって非常に辛いところがあります。しかし、この取り組みは一定の成果が上がっております。今年の3月で駅から北大通、ウォーターフロント、幣舞橋まで全てがFREE Wi-Fiに完成しますので、ここも非常に良い形になると思っております。また、夜の魅力を作る「幣舞橋のライトアップ」を行ったり「影絵」をやったり、併せて釧路という文字モニュメントを作って、来てくれた人たちがここに泊まり、街の中に出てもらう場面を作っていくと取り組んでできているところであり、このようなものも活用して行こうとなります。

阿寒湖畔では、新たなコンテンツということで、「イコロ」の中で行っております「ロストカムイ」、これも大変人気が出ています。夏の間、今度は5月～11月ぐらいでしょうか「ロストカムイ」で、国立公園の中でのデジタルアート、デジタルサイレントというのですか、そのような形で行って行きます。大変人気があって、いままで日本語だけだったのを新年度は外国人対応で英語などを取り入れていくこともなっております。いろいろなことをいましっかり取り組んで行こうとしています。

ただ、新型コロナウイルスがどのようなことになるか不安な状況ですけど、しかし、ここからしっかり進めて行きたいと思っております。併せてインバウンドならずとも、国内からもいろいろな移動も出てくるかもしれませんので、ここをしっかりと行っていきたい。ある意味でコロナウイルスが治まったときの動きをしっかりと作って行こうと取り組んでいるところです。次は、「学力向上」です。これは冒頭もお話をさせていただきましたが、本当に皆さまのお力で数学検定なども行っていただいたところでもあります。この学力向上に向けての取り組みも行っております。また青年会議所さんとも連携を取りながら行こうなど、子どもたちの可能性を高めていく学力をしっかりと伸ばして行こうとしています。

次が、「コンパクト & ネットワーク」というか、「持続可能な街づくり」ということでもあります。この中で



はやっぱり釧路駅の問題もあり、ここはいま案を作っているところです。この3月にも釧路商工会議所さんともいろいろな説明会を行っていく予定になっています。また、釧路ロータリークラブの皆さまともそのような場面あれば新年度の中で案としてまとめようとする取り組みをしていますので、ぜひ場面を作っていただければありがたいと思います。

次は、「防災・減災・強靱化」です。先だっの国会の議論の中で、海溝型地震で唯一シミュレーションが出ていないのが、このエリア、千島海溝の地震と津波です。「早く出してくれ」とずっと要請していたところで、この3月ぐらいに関係する自治体に高さこのようになっています。国が津波の高さを発表し、続いて都道府県がその高さをベースにどこまで津波が行くのかという浸水予想区域を作る。これがワンセットになっているのです。

いまこちらにあるのは、北海道が高さを独自で想定し、その高さに合わせた浸水エリアを作っているのが現状です。国が高さをしっかりと示すことになっておりますので、作業としてはその後、浸水がどこまで行くのかがありますけれど、前回の高さがありますので、ここは一定程度参考にできると考えておまして、ここが出た場合、そこをしっかりと強靱化・防災・減災、この事業を構築しながら進めて行こうと考えておまして、しっかりと行ってまいりたいと思っています。

そういった意味から、予算も当初は1年に1回、つまり当初予算がなによりも大事で、当初予算に入らなかったものは補正で入れていくことはどうなのか、ということが地方自治体の考え方でした。つまり、その1年でやることを示して行くことが当初予算であって、そこまでにまとまらなかったものは、もう1年しっかり議論をしながらまとめて行きましょう、がいままでの予算の仕組みという感じでした。私はそうではなく、当初は当初の考え方がある。しかし常に社会というものは、動いているわけです。先々が見えないという状況の中であります。ということは、その時その時にしっかりと適切な対応、特に地方自治体は現場なわけですので、例えば6月議会・9月議会・12月議会、このような時に対応をしていくやり方、これがこれからの地方自治体の進め方ではないかと、ずっと話をしております。そのような意味で、その途中のいろいろなことに対応できるような形なども考えています。その上での当初の予算ということでして、先ほどのような考え方をベースにしながらいま進めていることで、ぜひご理解をいただきたいと思います。

この後また市立病院建設のことも出てまいります。早急にこれをまとめて行こうと思っています。これも年度途中のいろいろな対応になってくると考えています。常にそのようなことをしっかりお話をしながら、併せて皆さまからいただいた、預かっているお

金、そのお金についてはしっかりと、どのような意味で使うのか、意思・気持ちを込めて使うようなやり方で、これからもまたしっかりと進めてまいりたいとこのように考えておりますのでよろしくお願い申し上げます。

ご静聴ありがとうございました。

会長謝辞

蝦名市長におかれましては、毎年のこととはいえこのお忙しいところ毎年ご講話いただきありがとうございます。そして昨日のプレス発表、そして今朝のマスコミ・新聞各紙面でも多く取り上げられた新予算のこと。新しいツールのことをお示しいただきありがとうございます。

ああいう媒体ではなく、市長ご本人からその話を伺えるということはすごくラッキーなことだと思っております。

新年度も持続可能な発展的目標をきっちりと掲げ、釧路のリーダーとして頑張っていただきたく思います。今日はありがとうございました。

[Return to Top](#)

[Return to Web Site](#)